

歴史から学ぶ平和と人権

日米親善の「青い目の人形」

～大津市の学校資料から～

2024年7月13日(土) 和邇文化センター ホール

受付 9:30～ 開演 10:00～12:00

講師 大津市歴史博物館 学芸員 福庭万里子氏

昭和2年(1927年)、当時の日米関係を憂慮したアメリカの宣教師シドニー・L・ギューリックは、子どもたちの親善交流のため、約12,000体の人形を日本へ贈りました。これらは「青い目の人形」と呼ばれ、全国の小学校などに配られました。太平洋戦争が激化すると敵国の人形とみなされ、多くが失われてしまいました。現在、大津市に残るのは1体のみですが、交流当時の歓迎のようすは、多くの学校の沿革誌や写真に記録されています。学校に伝わる資料を紹介しながら、人形交流の歴史をお話しします。



▲大津市立平野小学校の「青い目の人形」写真は
大津市歴史博物館提供

主催



▲日米の人形交流を進めた渋沢栄一と「青い目の人形」
渋沢栄一フォドグラフより

大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会

人権を守る大津市民の会

滋賀県人権教育大津研究会

大津市 大津市教育委員会

主管

和邇学区「人権・生涯」学習推進協議会

※午前7時の時点で、特別警報・暴風警報・避難情報(レベル3以上)のいずれかが発表されている場合は中止となります。